草加市 クリーンふるさと

第21号
令和2年3月1日

発行：草加市クリーンふるさと推進協議会　住所：草加市青柳6－23－3　電話：048-931-3972

意外と知らないごみの分け方・出し方

どうしてごみを出す時は分別が必要なの？

草加市では、主に①**可燃ごみ**、②**不燃ごみ**、③**資源物**の３種類に分別していただき、ごみを収集しています。

このような分別が必要な背景には、**限られた資源を有効的に活用する**ことはもちろんですが、**安全にごみを処理し、処理費用を抑えること**なども理由として挙げられます。

例えば、**可燃ごみの中に不燃ごみが混ざってしまう**と燃えないものを燃やすことになるのでそれだけ**多くの熱や電力が**必要となり、**処理費用が高く**なってしまいます。

また、ルールを守らずにごみが出されてしまうと処理の工程で危険が伴う場合があります。

例えば、**スプレー缶の中身が残ったまま**ごみに出してしまうと、ごみ収集車や処理施設で**爆発・火災の原因**となり、**作業員へ危険が及ぶ**ほか、処理機械が壊れて処理施設をやむを得ず一時停止するなど、**収集時間などにも影響**が出る場合があります。

このため、ごみの分別は１人１人がしっかり意識して、正しい分別や捨て方のご理解とご協力が必要です。

食品ロス問題 ～食品ロス実態調査の結果～

昨年１０月に「食品廃棄物の削減に関する法律（略称：食品ロス削減推進法）」が施行されたことに伴い、草加市では、平成２９年に引き続き、市内の食品ロスの現状を把握するため、可燃ごみの中身を調査しました。

その結果、可燃ごみのうち、約１／４が食品廃棄物で、このうち半分は食べられるものでした。調査結果から推計した市民１人あたりの食品ロスは年間約４７kg、１日当たり１２９ｇであり、これは市民１人１人が毎日お茶碗１杯分のごはんを捨てている計算になります。

これだけ**多くの食品が食べられるのに捨てられてしまうのは、とてももったいない**ことです。

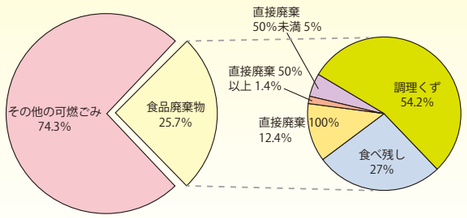
令和元年度食品ロス実態調査において
実際に廃棄されていた食べ物の一部

直接廃棄 約16kg（18.8%）
賞味期限・消費期限切れ、鮮度の低下、腐敗などにより、そのまま捨てられたもの

食べ残し 約23kg（27%）
調理したが、食べられずに捨てられたものや、店で購入した総菜やお弁当の残りなど

調理くず 約47kg（54.2%）
調理する時や食事の時に取り除いた、魚の骨や野菜・果物の皮、卵の殻など食べない部分

収集した可燃ごみに対する食品廃棄物の割合



食品ロスを減らすためには？

ご家庭から出る食品ロスを減らすためには、食品を**１．買い過ぎない、２．使い切る、３．食べ切る、**ことが大切です。

例えば…？
「買い過ぎない」ためには…買い物前に冷蔵庫の中身を確認して、同じ食材を買わないようにする
「使い切る」ためには…食べられる量だけ食品を買う
「食べ切る」ためには…食べられる分だけを料理する

このほか、食材に適した保存方法で、食材を長持ちさせることも大切です。食品ロスについて詳しくは、右のＱＲコードを読み取っていただくか、インターネットで 政府インターネットテレビ　食品ロス ウェブ検索 と検索してみてください。

QRコード

海洋プラスチック問題 ～ポイ捨てをやめよう～

今や生活に欠かせないプラスチック製品。このプラスチック製品が世界中で深刻な問題となっています。

プラスチック製のコップやストロー、レジ袋等がポイ捨てされ、川から海へ流れ込み、海の生物がこれらのものを食べてしまったり、接触して怪我をしてしまったり、多くの悪影響を与えています。プラスチック製品は自然には分解されにくいため、何十年も海を漂うこともあります。

このため、プラスチック製品を使う時は、しっかりと**分別してごみに出し、街中にポイ捨てしない**ようにお願いします。

海洋プラスチックごみについて詳しくは、右のQRコードを読み取っていただくか、インターネットで 政府インターネットテレビ　プラスチックスマートキャンペーン ウェブ検索 と検索してみてください。

QRコード

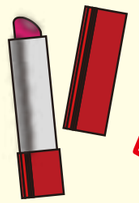
街中で何気ない気持ちでプラスチック製品をポイ捨てすると・・・

風で飛ばされてしまい、川や海に流れ込んでしまいます・・・

それを魚や亀などの海洋生物が食べてしまったり、怪我をしてしまったりします。

海や川を漂うプラスチックによって悪影響を受けた魚を私たち人が食べ、影響が及ぶかもしれません。

意外と知らないごみの出し方



マニュキュア口紅などの化粧品の容器

可燃ごみ

※製品の素材を確認して、プラスチック製であれば可燃ごみ。

不燃ごみ

※ガラス製品であれば不燃ごみの日にお出しください。

中身を乾燥させ、固まってから容器の素材に応じて、可燃ごみまたは不燃ごみの日にお出しください。

ランドセル

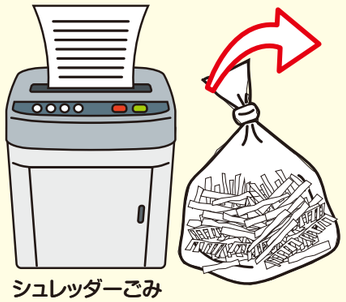
可燃ごみ

※長さ50㎝未満、重さ10㎏未満で、ほとんどが可燃性素材でできているため可燃ごみです。

ポリタンク

可燃ごみ

※プラスチックでできているため、可燃ごみの日にお出しください。
※長さ50㎝超えるまたは重さ10㎏超える場合は粗大ごみとなりますので、粗大ごみ受付センター(電話:048-931-5374)にて受付、申込をしてください。



シュレッダーごみ

可燃ごみ

※細かい紙は、繊維質が破壊されてリサイクルに不向きであり、リサイクルの工程で異物として除去される場合があるため、リサイクルに向きません。このため、可燃ごみの日にお出しください。

植木鉢

可燃ごみ

※プラスチック製であれば、可燃ごみの日にお出しください。

不燃ごみ

※陶器等でできたものであれば、不燃ごみの日にお出しください。

※長さ50㎝超えるまたは重さ10㎏超える場合は粗大ごみとなりますので、粗大ごみ受付センター(電話:048-931-5374)にて受付、申込をしてください。

教科書・ノート

資源物

※汚れていない紙類は雑紙としてリサイクルできるため、資源物の日にお出してください。
なお、雑誌や本などのビニールコーティングされている表紙部分は取り除いてから、紐で縛ってまとめてから集積所に出してください。

飲み物以外のびん・かん
(ジャム・サバの缶詰・粉ミルクの缶など)

不燃ごみ

飲み物用のびん・かんは資源物ですが、食べ物用のびん・かんは不燃ごみの日にお出しください。

ごみ分別アプリ配信中

ごみの分別や出し方について困った時は、スマートフォン向け無料アプリ「草加市ごみ分別アプリ」をご利用ください。
※通信料はご利用者様のご負担となります。

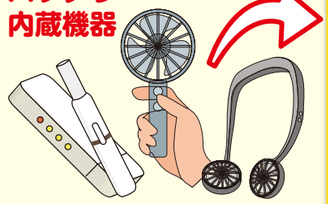
I Phoneをお使いの方

App Storeで「草加市ごみ分別アプリで検索していただくか、右のQRコードを読み取ってダウンロードしてください。

Androidをお使いの方

【Androidをお使いの方】
Google Playで「草加市ごみ分別アプリで検索していただくか、右のQRコードを読み取ってダウンロードしてください。

バッテリー内蔵機器



例えば・・・
加熱式電子たばこ
モバイルバッテリー
スマートフォン
タブレット
充電式小型扇風機

①専用の回収ボックス
②不燃ごみ

市内公共施設等に設置している「小型家電専用回収ボックス」に投函していただくか、不燃ごみの日に透明な袋に入れて集積所に出してください。

不燃ごみの日にお出しいただく場合は、透明な袋に入れて集積所に(乾電池やバッテリー等を取り外せるものは可能な限り取り外してください。)お出しください。専用の回収ボックスに投函する場合は、袋に入れずそのまま投函してください。

使用済小型家電回収ボックス設置場所

※市役所本庁舎西棟に設置していた回収ボックスは、第二庁舎へ移動しました。

市役所第二庁舎
中央図書館
勤労福祉会館
稲荷コミュニティセンター
瀬崎コミュニティセンター
高砂コミュニティセンター
原町コミュニティセンター
氷川コミュニティセンター
柳島コミュニティセンター
八幡コミュニティセンター
川柳文化センター
新田西文化センター
リサイクルセンター
環境業務センター
イトーヨーカドー草加店
中央公民館(携帯電話対象)
文化会館(携帯電話対象)
谷塚文化センター(携帯電話対象)
新里文化センター(携帯電話対象)

災害時の備蓄品として保管しているもの等は、普段から使用期限を確認し、整理するなど、ごみの発生抑制(リデュース)にご協力を!!

スプレー缶・ライター・電池の出し方

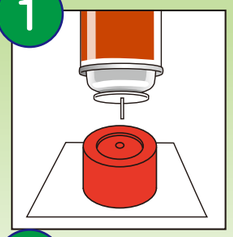
スプレー缶やライター、電池などは、決められたルールに基づいて出していただかないと、処理の工程で**爆発や火災**の原因になってしまいます。ごみ処理工場にて爆発や火災が発生してしまうと、**作業員へ危険が及ぶ**ほか、処理機械が壊れて処理施設をやむを得ず一時停止するなど、施設の安全点検などに時間を要し、**収集時間などにも影響**が出ます。
このため、これらのものを出す時は、1人1人がルールを守って出していただく必要がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

スプレー缶・カセットボンベ

注意事項

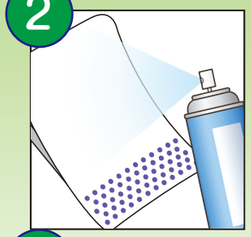
※必ず、火気のない風通しの良い屋外で行ってください。
※穴をあける行為は危険ですので絶対にしないでください。

1



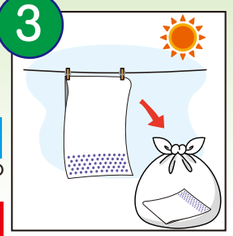
ガス抜きキャップがある場合は、ガス抜きキャップを使用して空にする。
(※製品に書いてある使用方法や注意事項を守って行ってください。)

2



ガス抜きキャップがない場合は、不要になったタオルや衣類などに吹き付けて周囲への飛散を配慮しながら中身を空にする。

3

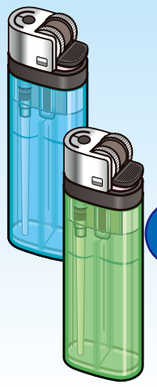


吹き付けたタオルや衣類は乾かしてから可燃ごみへ。

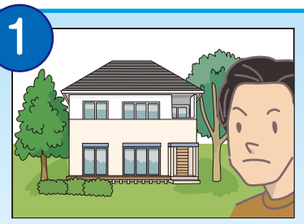
4

空にしたスプレー缶は透明な袋に入れて不燃ごみへ。

ライター

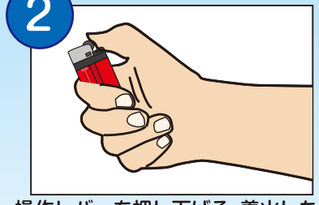


1



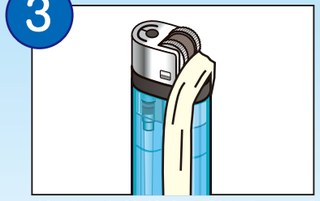
周囲に火の気が無いことを確認する。

2



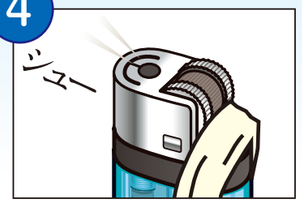
操作レバーを押し下げる。着火した場合はすぐに吹き消す。

3



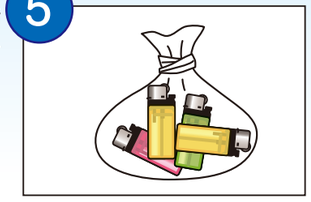
輪ゴムや粘着力の強いテープで、操作レバーを押し下げたまま固定する。

4



「シュー」という音が消えれば、ガスは抜けている。

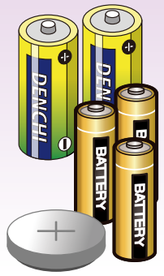
5



中身を空にしたら、透明な袋に入れて不燃ごみへ。

注意事項
※必ず、火気のない風通しの良い屋外で行ってください。

電池



乾電池やボタン電池を取り外してください。

透明な袋に入れ、不燃ごみの日に出してください。

市の公共施設に設置している乾電池専用の回収ボックスへ入れてください。

乾電池専用の回収ボックス設置施設一覧

市役所第二庁舎
勤労福祉会館
川柳文化センター
新田西文化センター
中央図書館
リサイクルセンター
環境業務センター
中央公民館
柿木公民館
谷塚文化センター
松原サービスセンター
新田サービスセンター
谷塚サービスセンター

バッテリーやバッテリー内蔵機器は入れないでください。

使用済小型家電回収ボックスと乾電池専用回収ボックスの設置施設は異なる場合がございますので、お間違えの無いようご注意をお願いします。